

平成 28 年度 第 1 回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 平成 28 年 11 月 24 日（木曜日） 午後 2 時から 3 時まで

2 場 所 長野市民病院 2 階 市民健康ホール

3 出席者

（出席委員）

小口 壽夫 委員長代理
岩野 彰 委員
小林 邦一 委員
畠山 悦子 委員
本道 多加子 委員

（委員以外の出席者）

池田 宇一 （地方独立行政法人長野市民病院理事長）
宗像 康博 （ 同 副理事長）
平井 一也 （ 同 理事）
藤澤 和子 （ 同 理事）
篠原 邦彦 （ 同 理事）
市川 専一郎 （ 同 事務副部長）
渡辺 敏明 （ 同 企画財務課長）
福島 孝志 （ 同 総務人事課長）

（事務局）

黒岩 章彦 （長野市保健福祉部医療事業課長）
西山 純一 （ 同 医療事業課長補佐）
村木 裕一郎 （ 同 医療事業課係長）

4 議 事

（1）地方独立行政法人長野市民病院からの報告事項について

【資料 1】地方独立行政法人長野市民病院 平成 28 年度上半期業務実績

（2）地方独立行政法人長野市民病院の業務実績評価方法について

【資料 2】地方独立行政法人長野市民病院の業務実績評価について（概要）

【資料 3】地方独立行政法人長野市民病院 業務実績評価方針（案）

5 その他

今後の予定

○ 開 会 午後2時

(事務局)

ご案内の時間となりました。

委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠に有難うございます。

ただいまから、平成28年度第1回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

本日の会議につきましては、3時半を目安としまして、終了を予定してございますので、よろしくをお願いいたします。

また、本日の委員会につきましては、公開で行い、議事録調整のため、録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

会議に入ります前に、本日の資料の確認をお願いいたします。

資料につきましては、事前に委員の皆さまにお送りさせていただいております。

<資料の確認>

続きまして、会議に先立ちまして、事務局の黒岩医療事業課長からご挨拶を申し上げます。

また、併せまして、評価委員の退任及び新委員の就任についてご報告申し上げます。

○ 医療事業課長あいさつ

保健福祉部医療事業課長の黒岩でございます。

本年度、最初の評価委員会となりますことから、本来であれば保健福祉部長の田中からご挨拶申し上げるところでございますが、所要により欠席をさせていただいておりますので、私から一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度は、5回の評価委員会と2回の市議会福祉環境委員会との意見交換会を開催させていただきました。

委員の皆様方には、公私ともにお忙しい中、ご出席を賜りご審議いただきましたことに改めて御礼申し上げます。

おかげさまでもちまして、長野市民病院は、無事、本年4月1日に地方独立行政法人に移行することができました。

法人移行後の病院運営につきましては、後ほど長野市民病院から説明がございしますが、順調な滑り出しとなっております。

今後も、池田理事長兼病院長を中心に、地方独立行政法人の長所を十分に生かしながら、がん診療や救急医療を主体とした高度急性期医療の充実や地域医療機関等との連携強化を図り、より一層、市民の健康の維持・増進及び市民の福祉の向上に資する長野市民のための病院となることを期待しているところでございます。

本年度は2回の評価委員会の開催を予定しており、本日は、来年度から法人の業務実績評価を行っていただくための評価方針についてご審議をいただく予定でございます。

委員の皆様方には、引き続き、審議を通じましてご協力を賜りますようお願い申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。

引き続きまして、委員の退任と新委員の就任についてご報告申し上げます。

本委員会の委員長を務められておりました池田修一委員が、一身上の都合により、平成 28 年 9 月 30 日をもってご退任されました。

これに伴いまして、新たに国立大学法人信州大学医学部長の田中榮司先生に委員として加わっていただくこととなりましたのでご報告申し上げます。

なお、田中委員におかれましては、本日は、都合によりご欠席となっております。

(事務局)

次に、平成 28 年度初めての評価委員会ということでございますので、改めて事務局から自己紹介を申し上げます。

<事務局自己紹介>

続きまして、地方独立行政法人長野市民病院の役職員が出席しておりますので、ご紹介させていただきます。

<市民病院自己紹介>

○ 委員長あいさつ（代理）

(事務局)

池田委員長がご退任されたことに伴いまして、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第 5 条第 3 項の規定により、本日は、小口委員に委員長代理をお願いさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、委員長代理の小口委員様からご挨拶をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

(小口委員長代理)

皆様ご苦労さまです。改めまして委員長代理を務めさせていただきます小口です。よろしくお願いいたします。

本日、私の住んでいる諏訪の方は雪が凄かったんですが、松本を過ぎたら随分少なくなって、長野に着いたら全く無くて驚いたところです。

それでは、司会をスムーズに進めていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

○ 会議事項

(事務局)

それでは会議事項に入らせていただきます。

評価委員会条例第 6 条第 1 項の規定に従い、小口委員長代理に議長として会議の進行をお願いいたします。

(議長)

それでは、はじめに(1) 地方独立行政法人長野市民病院からの報告事項についてですが、地方独立行政法人長野市民病院から設立の状況やこれまでの運営状況についてご報告をお願いいたします。

(市民病院)

<資料1 説明>

(議長)

ありがとうございました。委員の皆様からご質問等がありましたらお願いいたします。

(小林委員)

ほぼ計画どおりに進んでいるということですか。

(市民病院)

ほぼ計画どおりです。

目標・指標である救急車搬送受入件数が予定より若干低いこともありますが、重症入院患者は増えている状況でもあります。

(議長)

つまり、病院としては効率が良くなっているということでしょうか。

(市民病院)

この地域に関して言えば、重症患者は市民病院、それ以外は他病院へという役割分担ができ、効率は良くなっていると思います。

(島山委員)

8月に地域包括ケアセンターを開設しましたが、病床の稼働は順調でしょうか。

(市民病院)

センターの8～10月の病床稼働率は96%前後であり、空きが少なくなり良く稼働している状況です。

また、急性期病棟から地域包括ケア病棟への良い流れができており、相乗的に良い結果となっております。

(島山委員)

地域包括ケアセンターも入院期間が限られていることから、退院後の患者の方々は、どちらの方に行っておられるのでしょうか。

(市民病院)

3名が転院しましたが、9割近いほとんどの方々は、在宅若しくは在宅とみなされる施設へ行っておられます。

(議長)

地域包括ケア病床として一般病床の44床を転用したことで、一般病床が少なくなった分、もっと一般病床稼働率が上昇しても良いような気もしますが、ほぼ予想どおりということでしょうか。

(市民病院)

ほぼ予想どおりです。

(小林委員)

地方独立行政法人として半年業務を実施してみたの感想はどうでしょうか。

(市民病院)

経営及び人事等含め、やりやすいと感じています。

その分、責任もありますが権限もあり、地方独立行政法人は、市民病院には合っている制度であると思います。

(議長)

1日当たりの入院単価が下がっていますが、これは、地域包括ケア病床も含めた入院単価だからであると思います。地域包括ケア病床を除いた一般病床のみでの入院単価はどのくらいでしょうか。

(市民病院)

ほぼ前年並みの65,000円程度となります。

(議長)

急性期病院の入院単価については、一般病床とそうでないものを分けて、一般病床の単価で比べられるようにしておいた方が、より分かりやすいと思います。

(議長)

他に何かございますか。無いですかね。

ありがとうございます。池田院長が就任されてまだ半年ですが、新しいことに挑戦している姿勢が良いと思います。

しかも順調な滑り出しで大変すばらしく、引き続き頑張ってもらいたいと思います。

それでは、次に、(2)地方独立行政法人長野市民病院の業務実績評価方法について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

お手元の資料によりまして、ご説明申し上げます。

<資料2及び3説明>

(議長)

ありがとうございました。ただいま事務局からご説明をいただきましたが、委員の皆様としてみれば、なかなか大変だなあという印象があるかと思います。

評価委員会を設置して今年で2年目となりますが、この評価業務が当委員会の本来の役目となるということです。これを踏まえて、ご質問・ご意見を賜りたいと存じます。

(島山委員)

大項目評価については、中項目の合計点をその中項目ごとの項目数で割った平均を判断の目安とするということでしょうか。

(事務局)

そのとおりです。

(議長)

評価点数は事務局で付けるのでしょうか。

(事務局)

評価点数は、まずは法人が自己評価として評点付けを行い、評価委員会はその自己評価を検証することとなります。

(議長)

資料2の1ページ及び2ページにあるように、この評価業務はPDC AサイクルのC h e c kの部分であるとともに、その業務は7～8月に集中するのですが、委員の皆様も忙しいように思いますが、大丈夫でしょうか。

(事務局)

評価結果を9月議会で報告するためには、どうしてもこのようなスケジュールになります。他市の評価委員会の状況も調べましたが、どこも皆同じスケジュールでした。

(議長)

スケジュール以外の評価方法などで何かありますか。特に無いでしょうか。

<特に意見なし>

(議長)

何か事務局で補足説明等ありますか。

(事務局)

特にありません。

(議長)

ほかに何かございますか。無ければ、業務実績評価方針（案）につきましては、本日の審議内容を踏まえまして、次回の評価委員会で再度ご審議いただくことといたしますので、よろしくお願いたします。

以上をもちまして、本日の会議事項は、すべて終了しました。

ありがとうございました。

○ その他

(事務局)

ありがとうございました。

「その他」といたしまして、事務局から今後の予定につきましてご説明申し上げます。

(事務局)

次回の委員会の日程につきましては、2月の中旬から下旬での開催を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

○ 閉 会 午後3時

(事務局)

それでは、ただいまをもちまして、平成28年度第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会致します。

どうも有難うございました。